

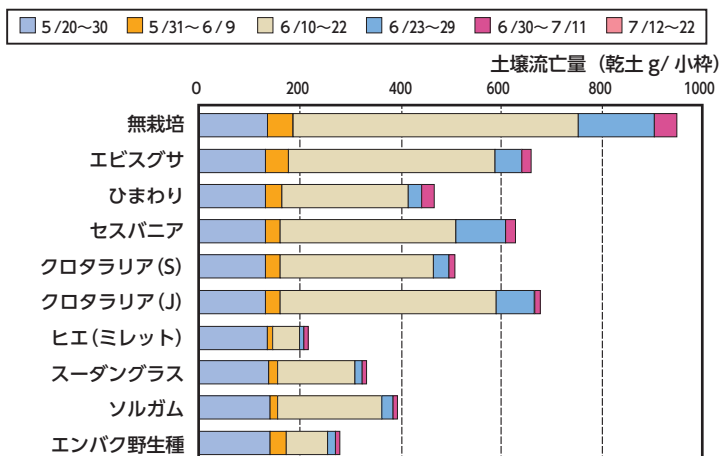


# これから雨の多い季節、畑が空いていませんか？ 空地は貴重な表土流亡に繋がります。

## 雨の多い梅雨から夏に緑肥作物（カバークロープ）を栽培するメリット 緑肥には土づくりをしながら、いろいろな効果が得られます……

- ☑ 雑草の繁茂を防ぎます！ トラクターの稼働が減り、省エネにつながります。
- ☑ 土壌流亡を防ぎ、大事な表土を守ることができます！
- ☑ 線虫対抗品種を利用することによって、線虫密度を減少させることができます！

等々…



図：カバークロープ草種と土壌流亡量の関係  
「梅雨時期の土壌流亡を抑制するカバークロープの効果」  
現 長崎県農林水産部 大井義弘

作物を栽培することによって、土壌表面が葉に覆われ、根によって土壌が保持されることから、土壌流亡が大幅に軽減される。



## 5～8月に播種が可能な品種

品種名	草種名	主な特性
つちたろう	ソルガム (イネ科)	サツマイモネコブセンチュウ対抗品種。初期生育早く粗大有機物が極めて多い。
ねまへらそう	スーダングラス (イネ科)	夏場のキタネグサレセンチュウ対抗品種として威力を発揮します。
ソイルクリーン	ギニアグラス (イネ科)	各種ネコブセンチュウの抑制効果が非常に高い品種。
青葉ミレット	ミレット (イネ科)	特に湿害のうけやすい圃場で、土壌浸食を防ぎ、栽培しやすい品種。
ネマキング	クロタラリア (マメ科)	各種線虫に抑制効果を発揮する品種。
ネマックス	クロタラリア (マメ科)	ネコブセンチュウ・ミナミネグサレセンチュウ・ダイズシストセンチュウ抑制効果が高い晩生品種。
ネマコロリ	クロタラリア (マメ科)	クロタラリア類の中では初期生育が極めて早く、サツマイモネコブセンチュウを減らす品種。
田助	セスバニア (マメ科)	耐湿性が強く、直根性の根で深く土壌改良が可能な品種。